



SIEM-111T/SIEM-111R

PLL Stereo/Mono In Ear Monitoring System

■ Preset 961 selectable channels ■ Stereo/mono



はじめに

この度はJTS SIEM-111T/SIEM-111Rをご購入いただき、誠にありがとうございます。SIEM-111T/SIEM-111Rは、UHF PLLシステムを利用したワイヤレス・インイヤー・モニターシステムです。B帯30chから選択可能なUHFチャンネルにより、最大5セットの送信機を同じステージで使用できます。MPXステレオオーディオ送信/受信が可能となっており、必要に応じてモノラルにも切り替われます。本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使いいただくため、ご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。

主な特徴

システムはJTSの信頼性の高いUHF PLL技術に基づいて設計

30の選択可能なチャンネルがあり、最大5セットのSIEM-111トランスミッターを同じステージで使用可能

フルメタルケースを採用

バックライト付きLCDディスプレイ搭載

画面ロックオンモード搭載

MPXステレオ音声伝送搭載

広帯域DynaDriverイヤホンにより、全帯域をフルに再生

長時間装着しても快適な耳に優しいイヤホン

SIEM-111T(送信機)

スイッチング電源対応(100～240V)

－10 dB入力選択ボタン搭載

ループアウトコネクタを装備

ヘッドフォンモニターを搭載

SIEM-111R(受信機)

高周波ブースター搭載

ボリュームとバランスコントロール搭載

ダイナミック・リミッターを内蔵

安全に関する注意事項

本機を電源コンセントに接続する前に、すべての接続を行ってください。

高温多湿の場所に放置しないでください。

濡れた手で電源コードを扱わないでください。

火気や熱源に近づけないでください。

大音量での長時間の使用は避けてください。聴覚障害を引き起こす可能性があります。

仕様

送信機/受信機(SIEM-111T/SIEM-111R)

S/N比:	80 dB (A加重)
IRR(Image Rejection Ratio):	80 dB
チャンネルセパレーション:	35 dB
アッテネーターレベル:	0 dB/－10dB
スイッチング電源:	100～240 V
連続使用可能時間:	12時間以上(単三電池2本使用)
質量: SIEM-111T:	1.45kg
SIEM-111R:	0.2kg

イヤホン(IE-1)

周波数特性:	10～20,000 Hz
トランスデューサー・タイプ:	ダイナミック
インピーダンス:	16 Ω
感度(@1kHz):	114 dB/mW
歪み:	0.3 %以下
ケーブル長:	147 cm
質量:	6 g(ケーブル含まず)

注意事項

- ①最適な受信状態を得るため、他の受信機と送信機の間に距離を置いてください。
- ②デバイスを金属物や干渉源から50cm以上離してください。
- ③受信機を長期間使用しない場合は、電池収納部から電池を取り出してください。
- ④電池を交換の際は、両方の電池を同時に新しいものと交換してください。
- ⑤電波法上、B帯の送信機のを改造(アンテナの取り外しやアンテナの延長など)することは禁止されております。使用時は必ず付属のアンテナを取り付けてください。付属のアンテナ以外を使用したり、BNCケーブルなどでアンテナを延長する行為も禁止されています。

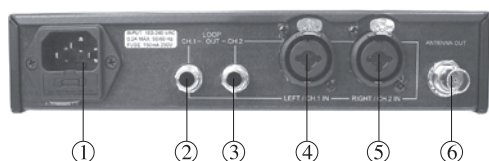


SIEM-111Tフロントパネル

- ①電源ボタン
- ②液晶ディスプレイ
- ③「+」ボタン
- ④セットボタン
- ⑤「-」ボタン
- ⑥ボリューム・コントロール
- ⑦モニター・ボリューム・コントロール
- ⑧3.5mmステレオミニジャック
- ⑨ステレオ・フォンジャック
- ⑩アンテナ

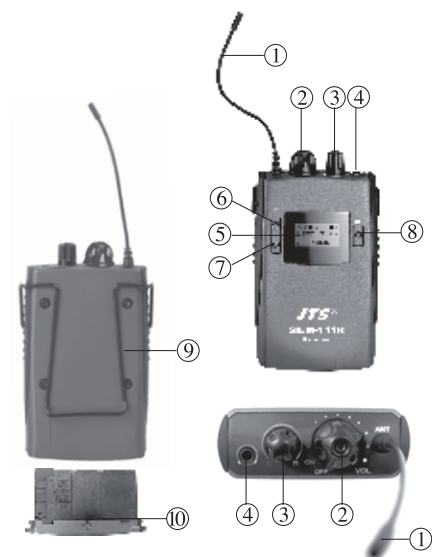
※注意

一度に使用できるステレオ・フォンジャックは1つだけです。



SIEM-111Tリアパネル

- ①AC電源用ソケットとヒューズ
- ②CH1ループ出力: フォンジャック (バランス)
- ③CH2ループ出力: フォンジャック (バランス)
- ④CH1オーディオ入力 (左): XLRフォン・コンボジャック (バランス)
- ⑤CH2オーディオ入力 (右): XLRフォン・コンボジャック (バランス)
- ⑥BNCアンテナ出力ソケット



SIEM-111R

- ①アンテナ
- ②電源ボタンとボリューム・コントロール
- ③バランス・コントロール
- ④3.5mmステレオ・フォンジャック
- ⑤液晶ディスプレイ
- ⑥「+」ボタン
- ⑦「-」ボタン
- ⑧セットボタン
- ⑨ベルトクリップ
- ⑩バッテリートレイ



IE-1

- ①イヤホン
- ②シリコンスリーブ
- ③コード
- ④3.5mmステレオフォンプラグ
- ⑤ケース



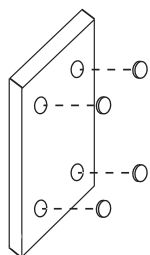
RM-901 ラック・マウント・キット

セットアップ

SIEM-111T

ゴムパッドのセット

安定性を高めるため、4つの粘着ゴムパッドが付属しています。送信機の底面に貼り付けて使用します。



アンテナの取り付け

付属のアンテナ (BNCコネクター付き) を背面のアンテナコネクターに接続し、上向きにセットします。

※付属のアンテナ以外は使用しないでください。送信機のアンテナをBNCケーブルなどで延長する行為は電波法により禁止されています。



ANTENNA OUT

電源に接続(ステップ1)

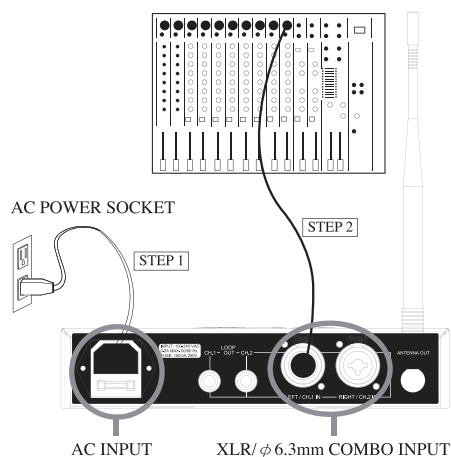
背面の電源コネクターに付属の電源コードを接続し、電源プラグをコンセントに接続します。

音源(ミキサーなど)の接続(ステップ2)

ミキサーからの出力をリアパネルにあるXLRフォン・コンボ入力に接続します。

※注意

2系統のバランスXLRフォン・コンボ入力を装備しています。どちらか一方の入力を使用するか、ステレオソースのために両方を使用します。また、2系統のループアウトコネクター (バランス・フォン) が、マルチシステム用に用意されています。



SIEM-111R

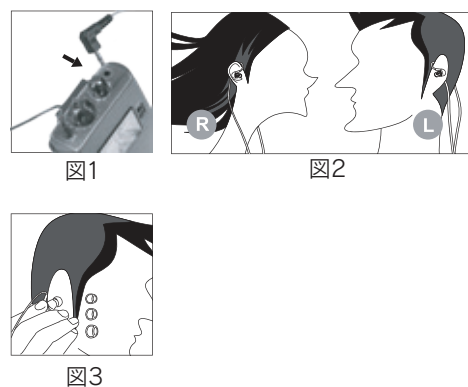
バッテリー交換

- ①バッテリートレイは受信機の底面にあります。
- ②受信機の底面の両端を持って、バッテリートレイを外します。(図1)
- ③バッテリートレイを立てます。(図2)
- ④ふたを押し下げ、外側にスライドさせます。(図3)
- ⑤ふたを開け、1.5V単三電池を2本、極性表示に従って挿入します。(図4)
- ⑥ふたを押し下げ、内側にスライドさせます(図5)
- ⑦バッテリートレイをスライドさせて、受信機の底部に戻します。(図6)



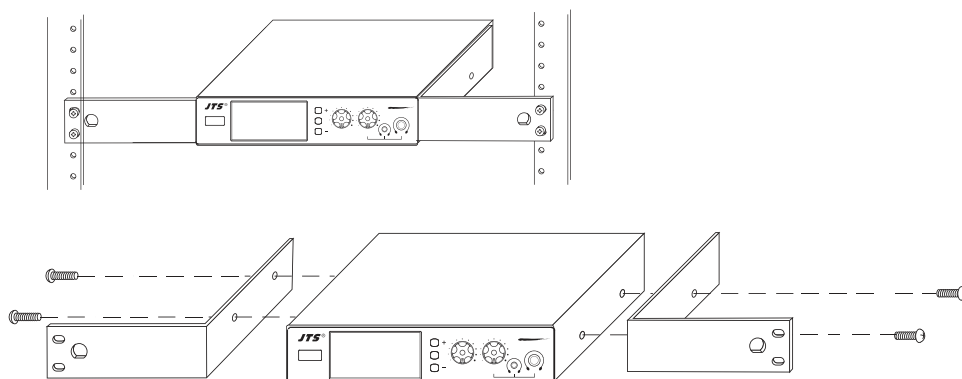
IE-1

- ①イヤホンを受信機のジャックに差し込みます。(図1)
- ②耳を傷めないように、音量は小さめにしてください。
- ③正しい位置にイヤホンを挿入してください。(図2)
- ④シリコンスリーブが耳に合っているか確認してください。もし合わない場合は、他のサイズのスリーブに交換してください。(図3)
- ⑤正しいチャンネルが選択されていることを確認してください。イヤホンの「R」と「L」の文字は、それぞれ右チャンネル(R)と左チャンネル(L)を示しています。



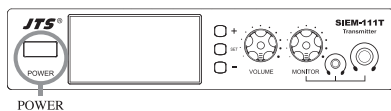
RM-901ラック・マウント・キット

標準EIAラックにトランスミッターを取り付けるためのラックマウントキットが利用可能です。



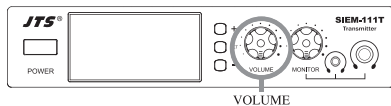
基本操作

SIEM-111T



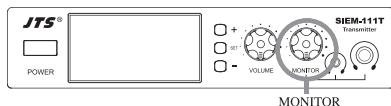
電源ON/OFF

「POWER」ボタンを押してトランスミッターの電源をON/OFFします。



音量(VOLUME)

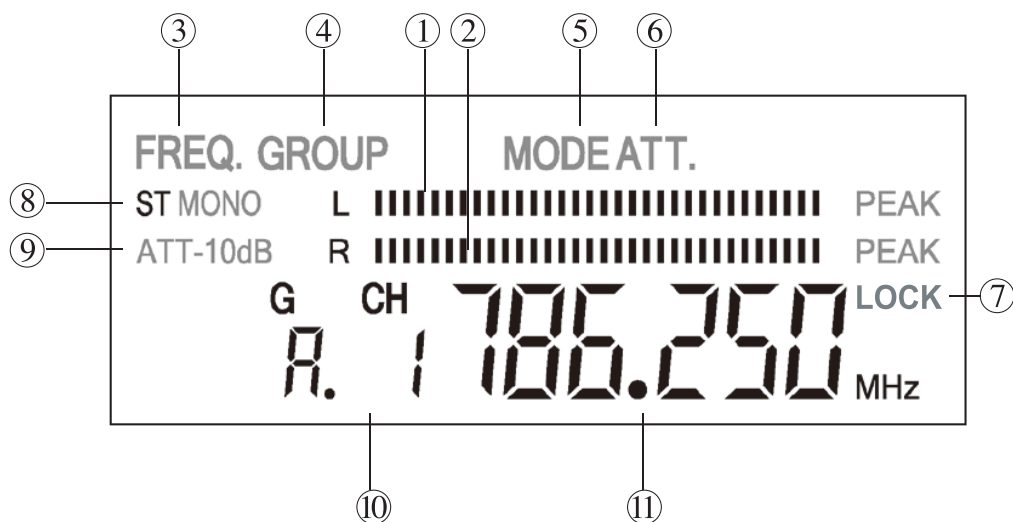
適切な音量に調整してください。



モニター音量

適切な音量に調整してください。

- ①AFレベル左チャンネル
- ②AFレベル右チャンネル
- ③周波数設定(点滅)
- ④グループ設定(点滅)
- ⑤モード設定(点滅)
- ⑥アッテネーター設定(点滅)
- ⑦ロック(Lock)On/Off(点滅)
- ⑧ステレオ/モノ
- ⑨アッテネーターレベル設定
- ⑩グループ/チャンネル
- ⑪周波数設定



周波数設定

- ①「SET」ボタンを約2秒間押し、パネル上の「FREQ」を点滅させます。
- ②「+」/「-」ボタンを押して周波数を増減させます。
- ③もう一度「SET」ボタンを押すと、周波数が確定し、保存されます。



グループ/チャンネル設定

- ①「SET」ボタンを約2秒間押し、「FREQ」を点滅させます。
- ②「GROUP」と「G」が点滅するまで「SET」ボタンを押します。
- ③「+」/「-」ボタンを押して、グループ番号を増減させます。
- ④「SET」ボタンを押すと、「GROUP」と「CH」が点滅します。
- ⑤「+」/「-」ボタンを押して、チャンネル番号を増減させます。
- ⑥もう一度「SET」ボタンを押すと、グループとチャンネルが確定し、保存されます。



ステレオまたはミックス/モノラルモード設定

- ①「SET」ボタンを約2秒間押し、「FREQ」を点滅させます。
- ②「MODE」が点滅するまで「SET」ボタンを押します。
- ③「+」を押すとステレオモード、「-」を押すとミックス/モノラルモードが選択されます。
- ④もう一度「SET」ボタンを押すと、ステレオモードまたはミックス/モノラルモードが確定し、保存されます。



アッテネーター(音量減衰)設定

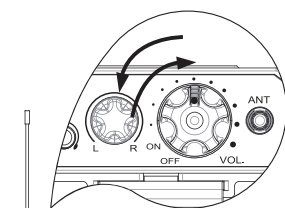
- ①「SET」ボタンを約2秒間押し、「FREQ」を点滅させます。
- ②「ATT」が点滅するまで「SET」ボタンを押します。
- ③「+」ボタンを押して「0dB」を選択するか、「-」を押して「-10dB」を選択します。
- ④再度「SET」ボタンを押すとアッテネーター設定が確定し、保存されます。



ロック(Lock)ON/OFF

- ①「SET」ボタンを約2秒間押し、パネルに「FREQ」を点滅させます。
- ②「LOCK」が点滅するまで「SET」ボタンを押します。
- ③「+」ボタンを押して「Loc ON」モードを選択し、「-」ボタンを押して「Loc OFF」モードを選択します。
- ④もう一度「SET」ボタンを押すとロックのON/OFFが確定し、保存されます。



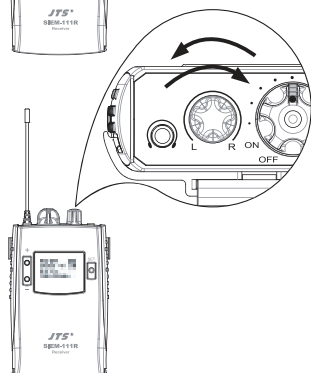


電源ON/OFFとボリューム調整

受信機の電源をオンまたはオフします。ボリュームコントロールを回して音量を調整します。

※注意

電池を交換するときは、受信機の電源を切ってください。



バランスコントロール

ステレオモードでは、左右のバランスを調整します。ミックスモードでは、2つの入力の相対的なボリュームを調整します。

①RF信号強度インジケータ

②ロックオンモード

③バッテリー残量

④オーディオ・モード(ステレオ/モノラル)

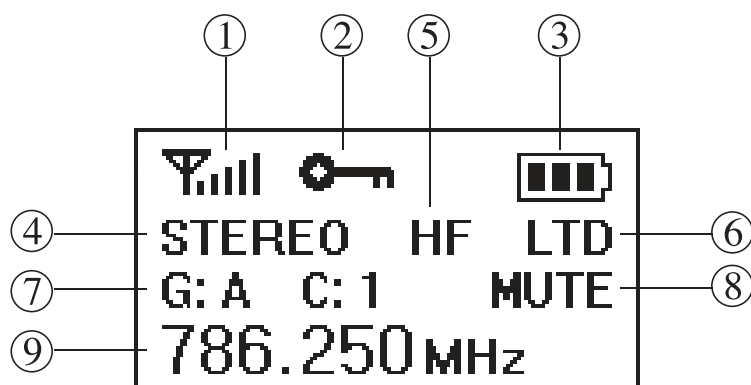
⑤高周波ブースター

⑥ダイナミクス・リミッター

⑦グループとチャンネル

⑧ミュートインジケータ

⑨周波数



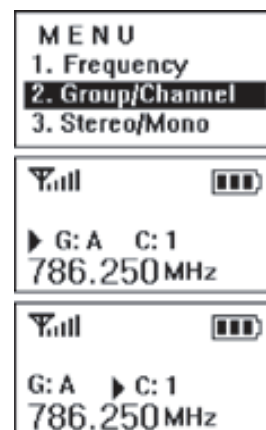
周波数設定

- ①「+」 / 「-」 ボタンを押して「1. Frequency」を選択し、「SET」ボタンを押します。
- ②「+」 / 「-」 ボタンを押して周波数を増減させます。
- ③再度「SET」ボタンを押すと周波数の設定が保存されます。



グループ/チャンネル設定

- ①「+」 / 「-」 ボタンを押して「2. Group / Channel」を選び、「SET」ボタンを押します。
- ②「+」 / 「-」 ボタンを押してグループ番号を増減させます。
- ③「SET」ボタンを押してから、「+」 / 「-」 ボタンでチャンネル番号を増減させます。
- ④もう一度「SET」ボタンを押すと、グループとチャンネルの設定が保存されます。



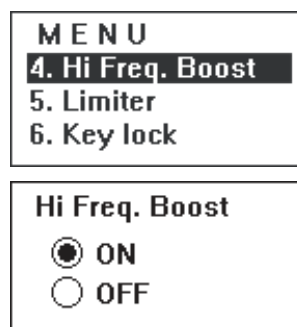
ステレオ/ミックス/モノモード設定

- ①「+」 / 「-」 ボタンを押して「3. Stereo / Mono」を選択し、「SET」ボタンを押します。
- ②「+」 ボタンを押すとステレオモードになり、「-」 ボタンを押すとミックス / モノラルモードになります。
- ③もう一度「SET」ボタンを押すと、ステレオ / ミックス / モノラルモードの設定が保存されます。



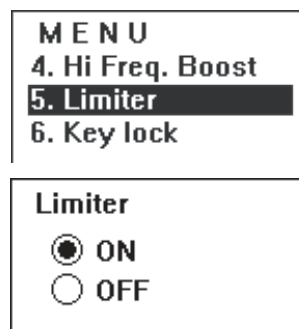
高域ブースター設定

- ①「+」 / 「-」 ボタンを押して「4. Hi Freq. Boost」を選択し、「SET」ボタンを押します。
- ②「+」を押すとブースターがオンになり、「-」を押すとオフになります。
- ③もう一度「SET」ボタンを押すと Hi Frequency Booster の設定が保存されます。



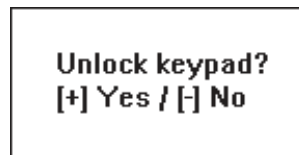
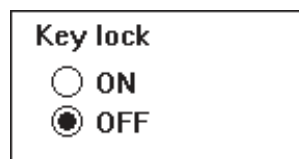
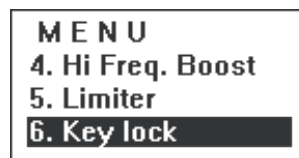
ダイナミック・リミッター

- ①「+」 / 「-」 ボタンを押して「S. Limiter」を選択し、「SET」ボタンを押します。
- ②リミッターをオンにするには「+」ボタンを、オフにするには「-」ボタンを押します。
- ③もう一度「SET」ボタンを押すと、ダイナミック・リミッターの設定が保存されます。



キーロックON/OFF

- ①「+」 / 「-」 ボタンを押して「6.Key lock」を選択し、「SET」ボタンを押します。
- ②「+」を押すとロックオン、「-」を押すとロックオフになります。
- ③もう一度「SET」ボタンを押すと、キーロックオン / オフモードの設定が保存されます。

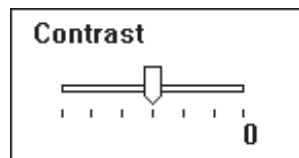
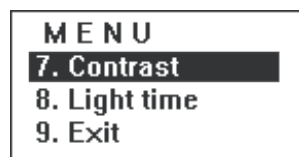


ロックオンモードの解除

ロックオンモードを解除するには、「SET」ボタンを押してから「+」ボタンを押します。「-」ボタンを押すとロックオンモードを保持します。

LCDディスプレイ・コントラスト

- ①「+」 / 「-」 ボタンを押して「7. Contrast」を選び、「SET」ボタンを押します。
- ②「+」 / 「-」 ボタンを押して、コントラストを増減させます。
- ③もう一度「SET」ボタンを押すと、コントラストの設定が保存されます。



バックライト消灯時間

- ①「+」/「-」ボタンを押して「8.Light time」を選択し、「SET」ボタンを押します。
- ②「+」/「-」ボタンを押して、バックライト消灯時間を増減させます。
- ③消灯時間は次の8種類から選択できます：
Off (オフ)、1 Sec. (1秒)、2 Sec. (2秒)、5 Sec. (5秒)、10 Sec. (10秒)、20 Sec. (20秒)、30 Sec. (30秒)、On (常時オン)
- ④「SET」ボタンをもう一度押すと、バックライトの設定が保存されます。



※注意

バックライトを常に「オン」に設定するとバッテリーの消耗が早くなります。

メニューから抜ける

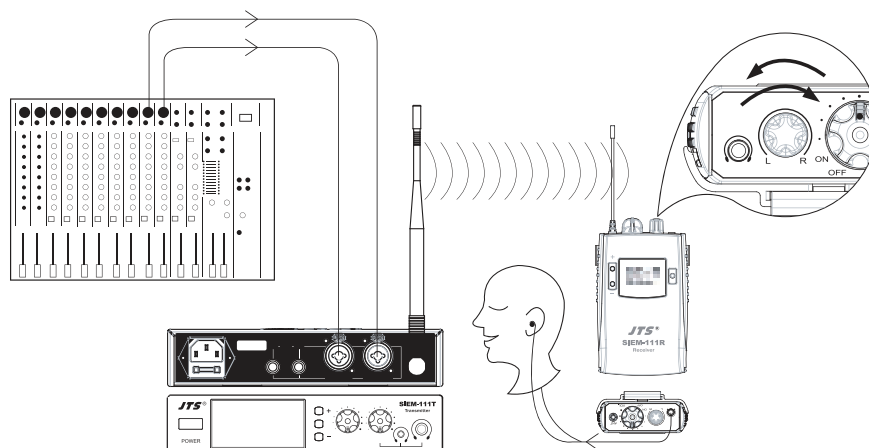
「+」 / 「-」 ボタンを押して "9.Exit " を選択し、「SET」ボタンを押してメニューを終了します。



ステレオ

ミキサーからの2つの出力がステレオミックスの左チャンネルと右チャンネルになるように接続します。左右のバランスはSIEM-111Rのバランスコントロールで調整できます。

1. ミキサー出力をトランスミッター入力に接続
2. SIEM-111 Tをステレオモードに設定
3. SIEM-111 Rをステレオモードに設定

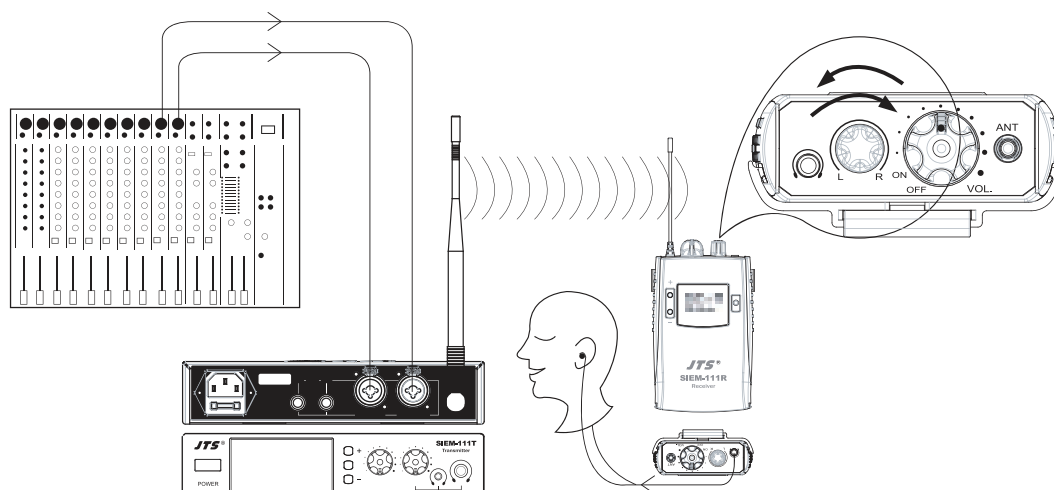


ミックス

ミキサーからの2系統の出力をレシーバーに送るように設定します。

レシーバーのバランスコントロールを使ってMIXを調整します、イヤホンで受け取る左右のサウンドは同じ音(モノラル)となります。

1. ミキサー出力をトランスミッター入力に接続
2. SIEM-111 Tをステレオモードに設定
3. SIEM-111 R を Mix/Mono モードに設定

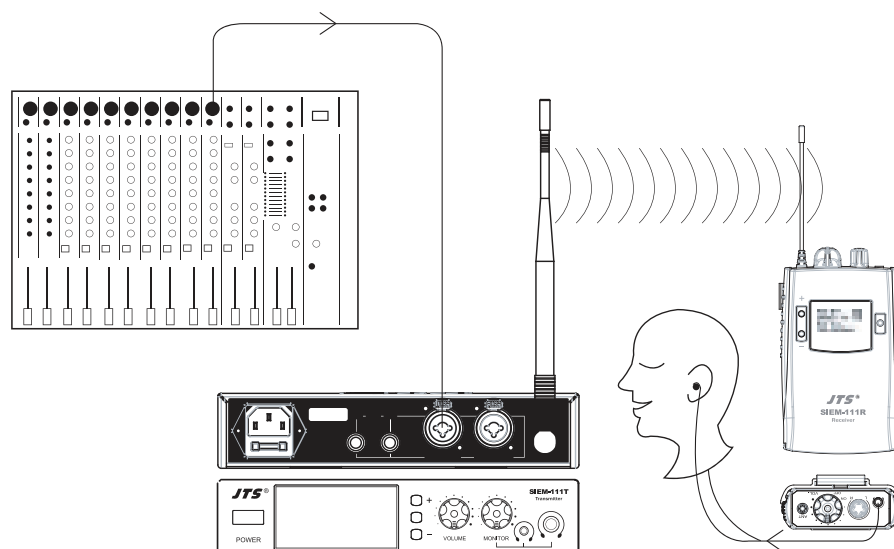


モノラル

ミキサーからの出力が1系統のみの場合のセットアップです。

1. ミキサーの出力をトランスミッターの入力に接続します。(LEFT/CH.1、RIGHT/CH.2のどちらか)。
2. SIEM-111T を Mix/Mono モードに設定します。

注: SIEM-111R のステレオ/ミックス/モノの設定は、このモードでは影響がありません



ループアウト接続

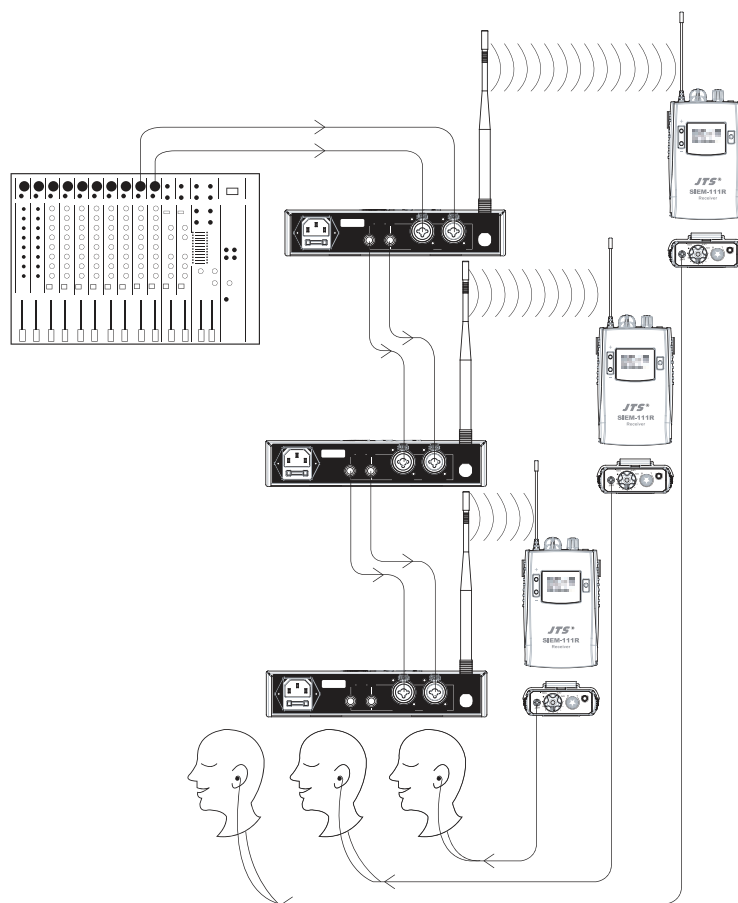
マルチシステム・ステレオモード

ループアウトコネクタを使用すると、ミキサーから複数のSIEM-111Tに1系統のステレオ信号を送ることができます。

ミキサーからの出力を最初のトランスミッター入力に接続します。

1台目のトランスミッターのループアウトコネクターから2台目のトランスミッター入力に接続します。

後続のシステムも同様に接続します。



チャンネルプラン表

Frequency(MHz)	Group				
	1	2	3	4	5
806.125	1-1				
806.250		2-1			
806.375					
806.500		2-2			
806.625			3-1		
806.750				4-1	
806.875					
807.000		2-3			
807.125	1-2				
807.250					
807.375			3-2		
807.500					
807.625					5-1
807.750	1-3				
807.875		2-4			
808.000				4-2	
808.125					5-2
808.250				4-3	
808.375					5-3
808.500		2-5			
808.625			3-3		
808.750					5-4
808.875			3-4		
809.000	1-4				
809.125					
809.250			3-5		
809.375				4-4	
809.500	1-5				
809.625					5-5
809.750				4-5	

	G1	G2	G3	G4	G5
1	806.125	806.250	806.625	806.750	807.625
2	807.125	806.500	807.375	808.000	808.125
3	807.750	807.000	808.625	808.250	808.375
4	809.000	807.875	808.875	809.375	808.750
5	809.500	808.500	809.250	809.750	809.625

